

上尾市図書館サービス計画

『くらしに役立ち、市民とともに歩む図書館』



平成 22 年 3 月

上尾市図書館

はじめに

「サービス計画」策定の目的

社会情勢の変化や図書館に対するニーズの多様化により、図書館のあり方も大きく変わろうとしています。このような現状の中で、これまでの図書館運営を振り返り、市民の意見を取り入れて、これからの図書館の方向を示すためにこの「サービス計画」を策定します。その中でこれからの取り組みを具体化して、市民とともに歩む図書館を目指します。

「サービス計画」の策定にあたっては、「図書館法」（昭和 25 年（1950 年）法律第 118 号、平成 18 年（2006 年）6 月 2 日改正法律第 50 号）「図書館の自由に関する宣言」（昭和 29 年（1954 年）採択、昭和 54 年（1979 年）改訂）「公立図書館の設置及び運営上の望ましい基準」（平成 13 年（2001 年）7 月文部科学省告示第 132 号）「文字活字文化振興法」（平成 17 年（2005 年）7 月 29 日法律第 91 号 9）等を前提に、上尾市総合計画（平成 13 年（2001 年）3 月発行）に基づき、計画期間を平成 22 年度から 5 年間とします。

I 上尾市図書館の現状

1 上尾市図書館の沿革

上尾市図書館は、昭和 46 年（1971 年）に図書館法に基づく公共図書館として設置されました。昭和 56 年（1981 年）6 月からは図書館本館が現在地で業務を開始し、平方・瓦葺・たちばな・上尾駅前・大石の 5 分館、上平・原市・大谷の 3 公民館図書室を開設、現在 9 館で運営しています。コンピュータシステムの導入や開館時間の延長をはじめとした市民要望に応じて、サービスの充実につとめてきました。

2 現在のサービス

上尾市図書館は、市内 9 館の所蔵点数は 550,263 点（平成 20 年度末、AV 資料等を含む）、貸出数は 1,273,377 点（1 人あたり貸出冊数 5.65 冊）、登録者数は 93,084 人（人口の 41%）です。平成 6 年（1994 年）10 月より、大宮市・浦和市・与野市（3 市は合併してさいたま市）・伊奈町と広域利用を開始、平成 17 年（2005 年）12 月に Web 予約を開始しました。

平成 18 年（2006 年）1 月に上尾駅前分館の開館と同時にカウンター業務を民間委託、続いて平成 19 年（2007 年）4 月に本館カウンター、平成 20 年（2008 年）1 月に分館カウンター業務を民間委託しました。

3 図書館をとりまく状況

図書館に対する市民ニーズの多様化により、図書館の在り方は大きく変わろうとしています。運営の委託化や職員数の減少は避けられず、市民サービスに対応できる図書資料費を維持するのが困難な状況です。こうした状況のもとで図書館にも変化と改革が求められています。困難な状況の中でも一定の水準を維持し、住民のニーズに応えるサービスを行っていくことが求められています。

II 利用者アンケートからみた上尾市図書館

《上尾市図書館利用アンケート概要》

◇調査対象者	上尾市内図書館9館の来館者
◇調査方法	来館者に館内でアンケート用紙を配布、回収
◇調査期間	平成20年7月15日(火)～7月21日(祝)(開館時間内)
◇回収件数	1,639件

1 図書館の利用者

性別	本館	男性(55%)	女性(45%)
	分館・公民館図書室*	男性(35%)	女性(65%)

*以下、「分館・公民館図書室」を他館と表示

・貸出・返却のための利用者	本館(64%)	他館(79%)
・読書をするための利用	本館(22%)	他館(10%)
・調べものための利用者	本館(6%)	他館(1%)
・リクエストのための利用者	本館(4%)	他館(6%)
・その他		
子どもに読み聞かせるための利用者		
図書館事業のための利用者		
上記以外の利用者		

2 図書館の利用のしかた

(1) 利用頻度

利用者のうち、半数が月数回の利用者

(2) 利用目的

趣味や娯楽のため	本館(35%)	他館(42%)
日常生活の実用知識や社会情勢を知るため	本館(31%)	他館(26%)
余暇を過ごすため	本館(14%)	他館(18%)
仕事・研究のため	本館(12%)	他館(8%)
その他		
学習の場として		
地域や生活上の課題を解決するため		

(3) 利用事情

貸出・返却等、短時間での利用(1時間未満)	本館(65%)	他館(90%)
ゆっくりと、長時間にわたっての滞在型利用(2時間以上)	本館(12%)	他館(2%)

居住地域の図書館利用率

本館（69％） 駅前（73％）
平方（41％） 瓦葺（69％） たちばな（51％） 大石（45％）
上平（54％） 原市（60％） 大谷（28％）

3 図書館への要望

- ・ 23万都市に見合った本館の拡張
- ・ 利用者のニーズに即した資料収集、蔵書の充実
- ・ 利用時間の延長
- ・ 図書館職員の資質向上
- ・ 利用者の憩いの場となりうる空間の提供
- ・ 図書館主催事業の充実
- ・ 図書資料提供時の簡素化・時間短縮
- ・ 障害者サービスの充実
- ・ 利用者のパソコン使用環境の整備
- ・ 飲食できる場の提供

Ⅲ 図書館の基本理念

『くらしに役立ち、市民とともに歩む図書館』

誰もが本と出合うよろこびを感じられる居心地の良い図書館

くらしに役立ち、市民の知る権利を保障する図書館

市民文化創出の^{いしずえ}礎になる図書館を目指して市民とともに歩んでいきます



IV 基本方針

1 図書館資料の充実

図書館が、本と人とが出合う魅力的な空間、知識の宝庫、地域における情報の拠点となるよう、時代の要請をうけた、そして市民の多様な要望（潜在しているもの、将来予測されるものも含めて）を反映させた資料を収集し、整備します。

2 暮らしに役立つ情報サービスの充実

利用者の必要とする資料・知識・情報を的確に提供します。特に暮らしに役立つ情報提供サービスの充実を図り人々の生活をサポートします。高度情報通信社会に対応した図書館環境を整備し、情報格差の解消を目指します。

3 対象者別サービスの充実

図書館は乳幼児から高齢者までさまざまな人が利用します。すべての人々は図書館を利用し、知的欲求を満たす権利があります。誰もが親しみやすく利用しやすい図書館づくりのために対象者別サービスを充実させます。

4 機関・団体との連携

市民の図書館資料に対する要求は今後ますます多様化することが予想されます。これにこたえていくために、現在行われている県内の図書館資料の相互貸借をさらに充実させるのはもちろんのこと、大学図書館など、館種を越えた連携を図り、相互に所有する情報資源を有効活用するための取り組みをはじめていきます。

また、市民ボランティアの自主的な活動を支援する組織づくりを積極的にすすめます。

5 図書館サービス網の充実

上尾市図書館は、本館と8つの分館、公民館図書室等を設置し、コンピュータシステムと回送車でネットワークを図り、市民への図書館サービスをおこなっています。各施設が十分機能し、より利便性を高めるために各館の機能を明確にし、地域ニーズにかなった開館時間の設定や施設改修、資料の充実をおこなうとともにサービス網の中核となる中央図書館の開設を検討します。

また、更なる充実を図るため、市民の動向、生活圏の変化等に対応したブックポストや配本所等新たなサービスポイントの設置を検討します。



6 新たな図書館サービスの拠点としての新中央図書館建設構想の推進

- (1) 図書館網の中核施設としての機能を備えた、23万都市にふさわしい新中央図書館(=第2図書館)の建設構想を進めます。
- (2) すべての世代が集える、居心地のよい空間づくりと滞在性を確保します。
- (3) 資料の収集・保存・提供(調査・研究)などを図書館サービスの核とします。
- (4) 図書館運営や、図書館に関わる市民の活動拠点とします。

7 市民とともに歩む図書館の創出

- (1) 市民が開かれた図書館とし、市民とともに歩み成長する図書館をめざします。
- (2) 長期的な展望に立ち、安定した図書館サービスを確保できる運営をします。



V サービス計画

1 図書館資料の充実

(1) 基本的資料の充実

- ① 辞書・事典等の参考書をはじめ、基本的に図書館に置くべき必要不可欠な図書は、各分野にわたり、幅広く収集します。
- ② 新鮮で魅力ある蔵書構成を目ざし、社会的動向や市民のニーズに配慮しつつ、新刊書や所蔵資料の複本も収集します。
- ③ 児童書・中高生向け図書や子どもの学習に役立つ資料、活字を読むのが不自由な人のための大活字本・録音図書等を充実します。
- ④ 音楽・映画等の視聴覚資料（CD・DVD）をより充実させます。

(2) 地域資料・行政資料の収集整備

地域の歴史や地誌、風習や民俗に関するものはもちろん、地域生活に役立つ行政資料・地場産業に関する資料などを収集保存します。

- ① 上尾市に関わる刊行物の網羅的収集
- ② 埼玉県と、上尾市に隣接する市町村に関わる資料の収集

(3) デジタル資料の収集

- ① 館内閲覧用として、内部データベース（百科事典、名鑑・年鑑、行政関連資料等）を収集します。
- ② 新聞・雑誌記事等は情報の新鮮度、即応性を補うためインターネットの有料データベースも積極的に活用し、利用者の調査研究の利便性を図ります。

2 暮らしに役立つ情報サービスの充実

(1) レファレンスサービスの充実

- ① (※) レファレンスサービスのPRに努め、「調べ案内」や「よくある質問集」を発行し、利用者みずから必要とする資料・情報にたどりつけるように図書館利用を容易にします。
- ② 電子メールからのレファレンスの受け付けを開始します。またホームページ上にレファレンス質問送信欄を設けます。
- ③ 必要に応じて地域の適切な機関等を紹介して問題解決を援助するサービスを実施します。
- ④ 利用者が登録した主題分野やキーワードに合致する新着情報を利用者にメール送信するサービスを検討します。

※レファレンスサービス＝参考調査、相談業務

(2) IT環境整備

- ① 館内にインターネット端末を複数台用意し来館者がアクセスできるようにします。
- ② 持込みPC用に、館内でインターネットへの接続ができるようにします。
- ③ (※) ICタグと(※) BDSによる蔵書管理を逐次進め、自動貸出機の導入など貸出業務を迅速化します。

※ICタグ=ICタグとは、シールラベルなどにICチップと小型のアンテナを埋め込み、そこに記憶された情報を電波によって直接触れずに読み取る技術のこと

※BDS=貸出確認装置 (Book Detection System)

(3) 暮らしに役立つ情報提供

- ① 仕事に関する情報、法律関連の情報、医療健康の情報等、生活上の諸問題を解決するための情報を提供します。
- ② 暮らしに関する多様な学習機会を提供します。
- ③ 商用データベースなど各種情報源を利用者に提供します。
- ④ ホームページに他図書館や信頼できるインターネット情報源をリンクします。
- ⑤ ホームページを通じて地域情報を発信し、また地域からの情報が図書館ホームページに集まる双方向型の地域情報拠点になります。

3 対象者別サービスの充実

(1) 乳幼児サービス

- ① 赤ちゃんと保護者が心ふれあうひとときを持つきっかけがつかれるように、「ブックスタート事業」として、4ヶ月健診時に絵本をプレゼントします。
- ② 保護者が絵本を選ぶときの参考になるように赤ちゃん向けや乳幼児向けの絵本のリストを作成し、配布します。
- ③ 乳幼児のうちから図書館を身近に感じてもらえるように、また、絵本の楽しさを知ってもらえるように、「えほんのじかん」を引き続き開催し、絵本の読み聞かせを行います。

(2) 児童サービス

- ① 児童の好みを尊重し、児童の成長にあった読書力を身につけられるように、良質で魅力のある児童書の充実を目指します。
- ② 調べ学習に答えられる資料の充実を図ります。
- ③ 「おはなし会」や「映画会」、「夏休み事業」を引き続き行い、児童が図書館に足を運ぶきっかけを作ります。
- ④ 年齢層に合わせた図書リストを作成し、子どもの心に残る本との出会いの機会を広げます。
- ⑤ 『子どもの読書活動推進計画』を策定し、学校や地域と連携をとり児童の読書活動を推進します。

(3) 青少年サービス

- ① 青少年が本に対してより親しみが持てるように、青少年の関心が高い資料を充実させます。
- ② 進路の選択を助けたり、社会に出たときに役に立つ資料を充実させます。
- ③ 図書館に興味を持ってもらうように中高校生の職業体験等の受け入れをします。
- ④ 高校の部活動などと連携し、機関紙の作成等に参加してもらえるようにします。

(4) 高齢者サービス

- ① 余暇を図書館でゆったり過ごしてもらえるような施設づくりをめざします。
- ② 今まで時間がないなどで図書館を利用できなかった人にも利用してもらえるように、そのきっかけ作りとして、「大人向けの映画会」や「おはなし会」を引き続き開催します。
- ③ 人生経験が豊富な世代でもあるので、講座の講師やイベントの運営などその経験を生かせる場を作ります。

(5) 図書館利用に障害のある人へのサービス

- ① 誰でも図書館へ足を運べるように図書館のバリアフリー化をめざします。
- ② 小さな文字を読むのが困難な人のために大活字本の資料を充実させます。また、CD、カセットなど録音図書の提供を引き続き行います。
- ③ 対面朗読サービスを視覚障害者だけでなく、読書が困難な人にも広げます。
- ④ 外出が困難な人への宅配サービスを行います。

(6) 施設等へのサービス

- ① 配本用の本のセットをつくり、それを施設に配本することによって施設の中でもより多くの本を手にとってもらえる機会を作ります。
- ② 施設入所者が読みたい本を読めるように、施設へのリクエストサービスを行います。
- ③ 施設へ出向いて紙芝居などの読み聞かせを行います。

4 機関・団体との連携

(1) 学校との連携

学校との連携を図り、小中学生向けのセット貸出しや、総合学習等の参考資料の選定など、学校からの要望に柔軟に応えられる図書館を目指します。司書教諭や支援員、ボランティアの育成に向けての研修に係わっていきます。加えて、学校教職員から児童・生徒への図書館のPR協力を呼びかけます。

(2) 大学図書館との連携

市内の大学や、近隣市町の大学図書館との連携につとめます。市民の専門資料の利用・レファレンスに協力を願うとともに、相互利用の推進を図ります。

(3) 公共機関との連携

市長部局へ図書館の新しい可能性について PR するとともに、各課がもっている情報（ビジネス支援・生活支援等について）を収集し、実際的な支援サービスにつなげます。

(4) 他公共図書館との連携

近隣市町とのさらなる広域利用の拡充を図ります。
図書館間での資料の相互利用を進めます。

(5) 市民ボランティアの育成

対象者別（児童も含め）に育成担当をつくります。ボランティアの自主的な活動を助け、活性化を図ります。

個人のボランティア志望者を積極的に受け入れ、継続的な活動の場を早期に確保します。また、施設ボランティア連絡協議会を立ち上げ、協議会による会報の発行、PRなどの支援をします。

5 図書館サービス網の充実

(1) 本館の改修

現在の建物は、昭和 56 年（1981 年）3月に完成し、同年6月より業務を開始していますが、その後 28 年を経過し、建物本体や機械設備の随所に老朽化が進行しています。電気設備・消防設備・排煙設備等の設備機器については、年次計画による改修工事が必要です。建物は耐震診断調査を実施し、その結果による補強工事を含めた改修工事を行います。

(2) 分館の整備・改修

分館についても、本館同様に空調設備や消防設備・自動扉等の設備機器に老朽化が進行しているため、一刻も早い改修工事が必要です。特に瓦葺分館については、図書館の建物そのものが手狭であるため、移転計画も含めた増設工事の検討が望まれるところです。

(3) サービスポイント・ブックポストの設置

図書館のサービスポイントとして、利便性の向上を図るために、人の集まる駅や公共施設への配本所やブックポストの設置を検討します。また既存のブックポストについても、必要に応じて改修をします。

6 新たな図書館サービスの拠点としての新中央図書館(=第2図書館)建設構想の推進

(1) 新中央図書館の機能

- ① 誰もが集える安全で居心地のよい空間として
 - ・ 子どもたちに魅力ある資料と空間
 - ・ 青少年が安心して利用できる資料と空間
 - ・ 障害のある方への図書館利用支援
 - ・ 高齢者のための豊富な資料と空間
 - ・ CD・DVDなど視聴覚資料とその利用設備の充実
 - ・ 多文化サービス、外国語資料の充実
 - ・ 飲食・学習スペースなどを設け滞在性のある施設

- ② 調査研究、情報提供機能の拠点として
 - ・ 調査・研究のために必要な図書・資料の充実
 - ・ 各種データベースの利用環境の整備
 - ・ 資料利用と情報検索が共にできる設備
 - ・ 地域資料の整備、充実



- ③ 図書館システムの中心として
 - ・ 市内図書館の組織運営、資料整備の中核として機能する
 - ・ 市内図書館や関係機関の必要とする資料の保存(共同書庫の設置)
 - ・ 学校など市内関係機関や市外の図書館などとの協力関係の拠点
 - ・ 図書館友の会のような市民が図書館に関わる活動の拠点
 - ・ 点訳、朗読活動、おはなし会等図書館ボランティアとの連携の拠点

(2) 建設の手法

- ① 新たに独立した新中央図書館を建設
 - ・ 既存施設の改築による転用(学校等)
 - ・ 用地取得から建設まで新規に建設
 - ・ 単独予算による建設
 - ・ (※) PFIによる建設

- ② 現上尾市図書館のリニューアルによる規模拡大

※PFI＝公共施設などの建設、維持管理、運営などを民間の資金、経営能力および技術能力を活用して行う事業のこと（Private Finance Initiative）

7 市民とともに歩む図書館の創出

図書館は、基本理念を実現するため市民に開かれた図書館を目指します。

司書等専門的職員を配備するとともに、職員の能力向上を図ります。

また、常に課題解決のための努力をおこない、長期的な展望に立った図書館サービスを市民に提供できる運営をします。

(1) 図書館の運営について開示・PR

規則・要綱・統計・資料の収集方針・選択基準・除籍基準等を公開します。

ホームページを充実し、図書館だよりやメールマガジンを定期的に発行します。

(2) 広く市民のご意見を聴くための体制作り

各館に「ご意見箱」を設置し提案されたご意見等を迅速かつ適切に対応します。

図書館協議会に市民公募委員を置きます。

(3) 図書館を支える仕組みづくり

市民と歩む図書館作りを実現し、児童サービスや障害者サービスなどの充実のために市民ボランティア活動の仕組みをつくり、積極的に支援します。

また 図書館をみまもり育ててくれる市民を募り、(※) 図書館友の会(仮称)を組織します。

※図書館友の会＝図書館の発展と充実に寄与し、図書館利用者の交流を図る事を目的とする自主的な組織

(4) 司書・司書補の配置と研修の実施

職員には司書資格を有する職員を配置し、定期的に職場会議と研修をおこない能力向上に努めます。

(5) 事業評価の実施と公表・改善

事業評価をおこない、その結果を公表します。また、評価に基づき改善を図ります。

(6) 長期にわたる図書館サービスの提供

充実した図書館サービスを市民に長期的に安定した形で提供できるような運営体制、管理体制とします。

「上尾市図書館サービス計画」策定の経緯

図書館協議会委員による検討

平成 21 年 8 月 31 日の図書館協議会に諮問、平成 22 年 1 月 25 日の図書館協議会で検討を行いました。

図書館協議会での検討

日 時	(曜)	内 容
09.08.31	(月)	上尾市図書館サービス計画の諮問、説明
10.01.25	(月)	上尾市図書館サービス計画に対する検討

市職員による検討会議

平成 21 年 11 月 2 日に第 1 回の会議を開催し、平成 22 年 1 月 18 日まで、3 回にわたって関係する課の市職員 8 名による検討会議を開き、図書館のサービス計画について検討を行いました。

上尾市図書館サービス計画検討会議

日 時	(曜)	内 容
09.11.02	(月)	上尾市図書館サービスの現状とサービス計画素案の説明
09.12.14	(月)	上尾市図書館サービス計画に対する意見の検討
10.01.18	(月)	上尾市図書館サービス計画の最終案について

市民コメントの募集

上尾市市民コメント制度により、平成 22 年 2 月 15 日から 3 月 10 日まで市民コメントを募集しました。8 人から 24 件の意見が寄せられ、その結果を公表しました。

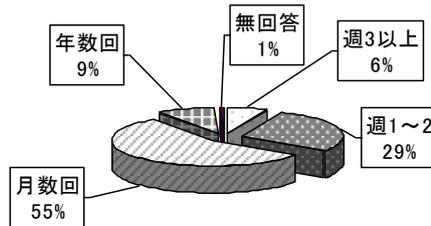
上尾市図書館利用アンケート 結果報告

アンケート概要

- ◇調査対象者 上尾市内図書館9館の来館者
- ◇調査方法 来館者に館内でアンケート用紙を配布、回収
- ◇調査期間 平成20年7月15日(火)～7月21日(月・祝)〔各館の開館時間内〕
- ◇回収件数 1,639件

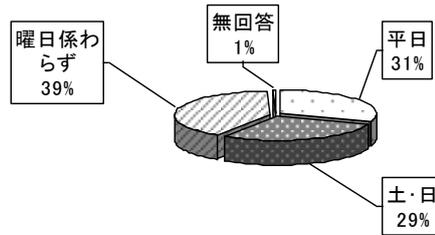
Q1. この図書館をどれくらい利用しますか？

利用頻度	回答数(人)
週3回以上	106
週1～2回	468
月数回	901
年数回	149
無回答	15



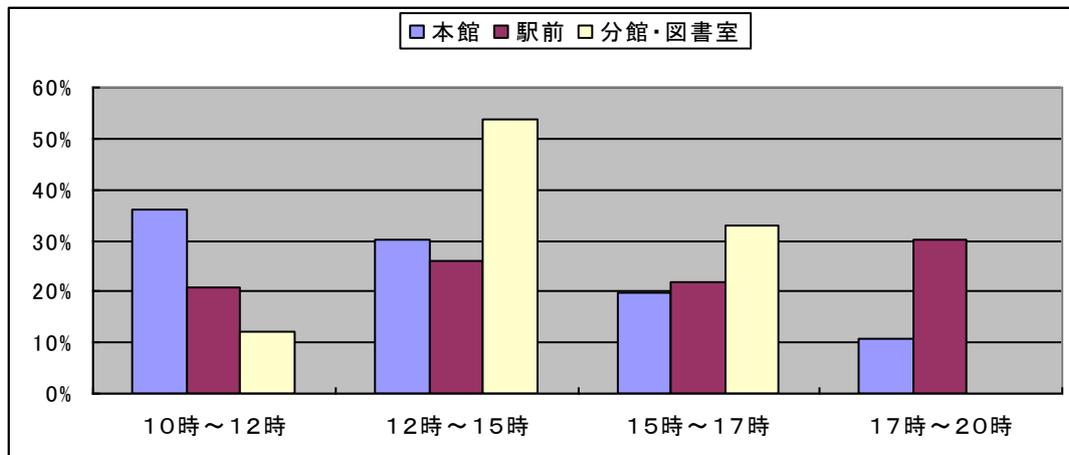
Q2. 図書館をよく利用する曜日はいつですか？

利用する曜日	回答数(人)
平日	502
土・日	468
曜日にかかわらず	661
無回答	10



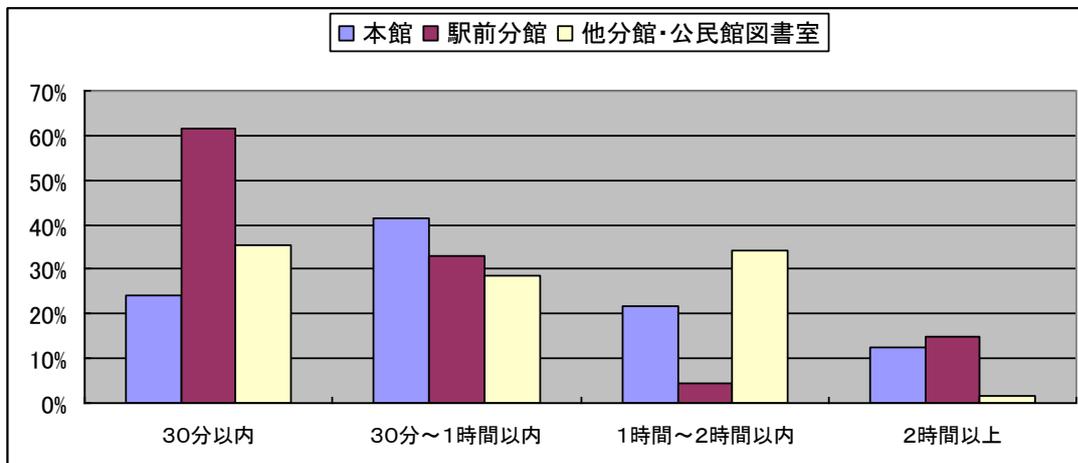
Q3. 図書館を利用する時間帯はいつですか？

	9時～12時	12時～15時	15時～17時	17時～20時
本館	230(人)	191	126	69
駅前分館	60(人)	75	63	87
他分館・公民館図書室	89(人)	393	241	



Q4. 図書館の中にいた時間は、どのくらいですか？

	30分以内	30分～1時間以内	1時間～2時間以内	2時間以上
本館	149(人)	257	135	77
駅前分館	172(人)	92	12	4
他分館・公民館図書室	357(人)	288	345	16



Q5. 今日はこの図書館に来館してどのようなことをしましたか？（複数回答可）

	1位	2位	3位	4位	5位
本館	図書資料を借りた	返却した	館内で読んだ	机で調べ物をした	リクエストをした
分館・図書室	図書資料を借りた	返却した	館内で読んだ	リクエストをした	職員に質問・相談をした

Q6. この図書館以外に利用する上尾市内の図書館はありますか？（複数回答可）

	本館	駅前	平方	瓦葺	たちばな	大石	上平	原市	大谷	なし
本館		209(人)	27	7	19	91	38	9	33	205
上尾駅前	225(人)		24	3	9	35	5	7	19	36
平方	35(人)	23		1	18	12	1	1	7	21
瓦葺	31(人)	11	0		0	1	0	13	0	66
たちばな	48(人)	15	28	0		31	1	7	18	29
大石	94(人)	34	13	3	14		3	2	13	48
上平	43(人)	9	2	1	0	3		0	0	15
原市	30(人)	10	2	14	2	2	1		0	30
大谷	49(人)	17	9	0	11	13	1	7		16

Q7. 上尾市の図書館以外に利用する図書館はありますか？（複数回答可）

	さいたま中央	大宮	大宮西部	宮原	さいたま北	それ以外さいたま	伊奈	その他	ない
本館	42(人)	41	31	83	18	15	26	29	289 (46%)
上尾駅前	12(人)	6	7	22	4	6	4	9	171 (60%)
平方	4(人)	3	3	7	2	1	0	3	48 (60%)
瓦葺	7(人)	5	3	2	9	21	3	4	64 (54%)
たちばな	2(人)	3	6	8	3	1	1	8	65 (59%)
大石	5(人)	4	3	11	3	5	2	9	117 (64%)
上平	1(人)	0	1	2	0	2	3	7	43 (64%)
原市	1(人)	0	3	9	5	6	1	4	39 (49%)
大谷	1(人)	0	0	8	0	0	0	7	64 (71%)

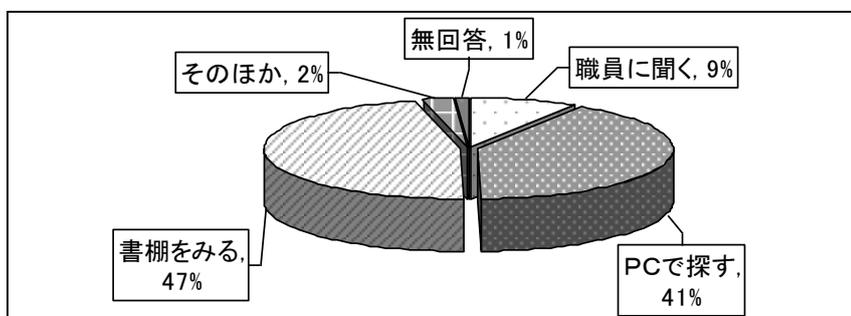
Q8. 図書館を利用するのは、どのような目的からですか？（複数回答可）

	仕事研究のため	課題解決のため	実用知識の取得	教養のため	勉強のため	趣味娯楽のため	余暇をすごすため	特になし
本館	156(人)	33	209	194	59	452	178	10
分館・図書室	153(人)	32	303	191	72	815	351	38

（回答欄補足） 課題解決のため・・・地域や生活上の課題を解決するため
 実用知識の取得・・・日常生活での必要な実用知識を得るため
 教養のため・・・教養を得たり社会の出来事を知るため
 特になし・・・特に理由はない

Q9. あなたは目的とする図書・資料をさがすときまず、どうしますか？

職員に聞く	利用者用コンピュータ	書棚を見る
155名	719名	819名



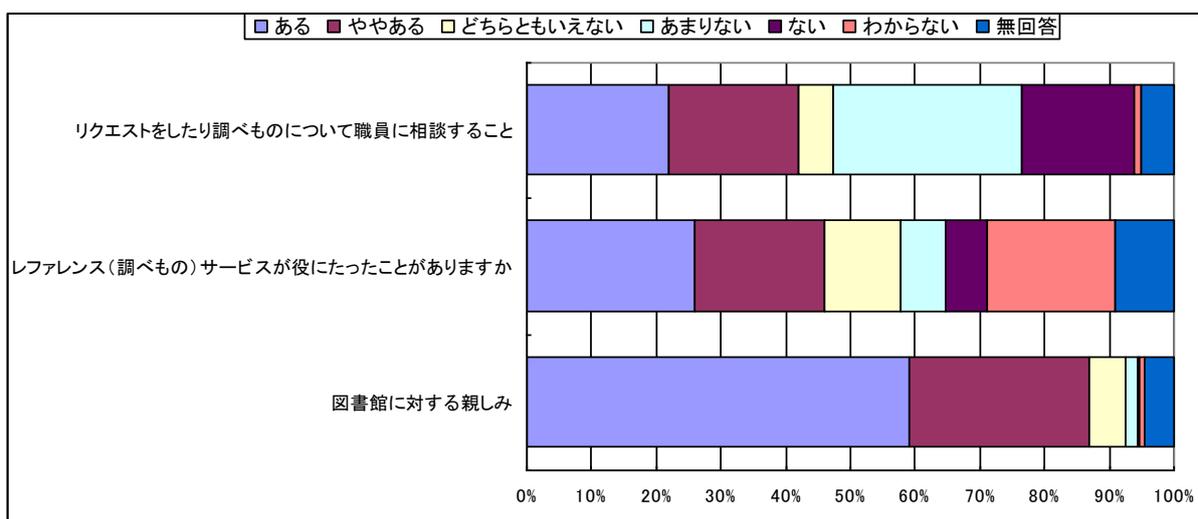
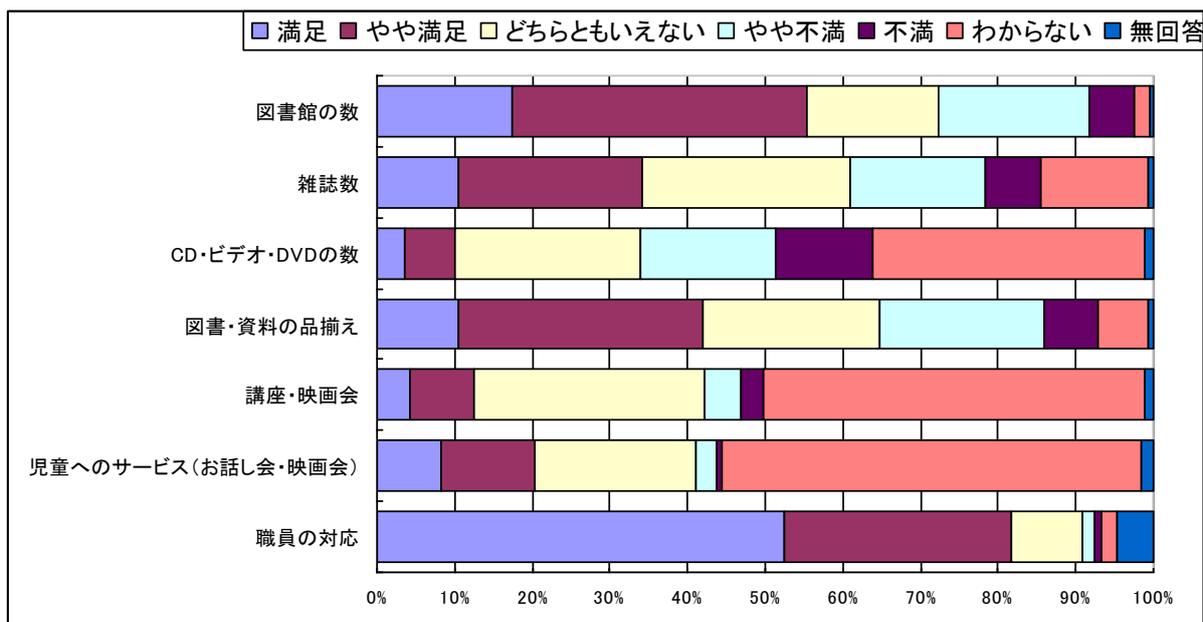
Q10. 目的の図書・資料が探せなかったとき、次にどうしますか？

	1位	2位	3位	4位	5位
本館	職員に聞く	代替りの資料を自分で探す	リクエストの手続きをする	あきらめる	代替りの資料を職員に探してもらう
分館・図書室	職員に聞く	リクエストの手続きをする	代替りの資料を自分で探す	あきらめる	代替りの資料を職員に探してもらう

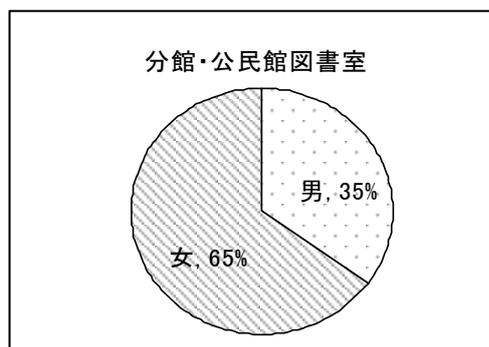
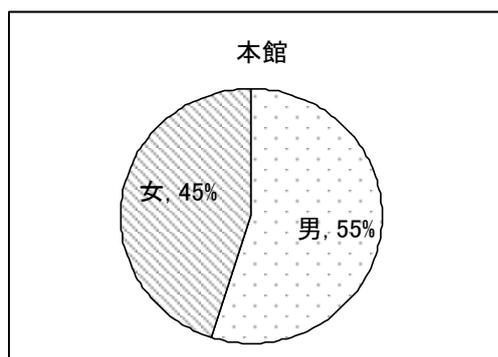
Q11. 図書館で今後充実する必要があると思われる図書・資料はどれですか？

	1位	2位	3位	4位	5位
本館	趣味・娯楽書	実用書	専門書	CD・DVD・ビデオ	児童書
分館・図書室	趣味・娯楽書	CD・DVD・ビデオ	実用書	専門書	児童書

Q12. 満足度



Q13. あなたの性別はどちらですか？



Q14. あなたの年齢は何歳代ですか？

	19歳以下	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代
本館	8(%)	8	17	18	15	22	12
上尾駅前	3(%)	8	21	16	21	19	12
平方	14(%)	4	23	10	9	25	14
瓦葺	1(%)	3	28	16	12	28	12
たちばな	5(%)	9	25	19	13	16	12
大石	4(%)	7	29	27	5	20	9
上平	2(%)	2	35	20	11	20	10
原市	4(%)	8	30	23	8	21	6
大谷	3(%)	2	31	21	19	14	10

Q15. あなたはどちらにお住まいですか？

	上尾	平方	原市	大石	上平	大谷	さいたま市	伊奈町	桶川市	その他
本館	408(人)	9	17	59	27	23	4	9	10	26
上尾駅前	210(人)	3	5	21	7	13	3	7	0	12
平方	33(人)	33	0	1	0	1	1	0	0	10
瓦葺	19(人)	0	82	0	0	0	7	0	0	10
たちばな	18(人)	59	0	8	0	16	1	7	2	3
大石	73(人)	4	1	82	1	8	0	0	0	11
上平	20(人)	1	1	0	36	0	0	2	0	1
原市	8(人)	16	49	0	0	0	1	1	0	2
大谷	44(人)	6	0	3	4	27	1	7	0	3

上尾市図書館サービス計画

～くらしに役立ち、市民とともに歩む図書館～

平成 22 年（2010 年）3 月

発行：上尾市図書館